

平成 28 年度 学科 AO 入試 総合考査 問題用紙【整復医療学科】  
試験時間：90分

柔道整復師は日常生活におけるケガをはじめ、スポーツ・レクリエーションにおけるケガの治療にも携わっている。資料は、過去 1 年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数を障害者と成人一般と比較したものである。これをもとに以下の問いに答えなさい。

問1. 障害者ではスポーツ・レクリエーションを行っていない者が約 6 割であるが、その障壁とその対策について、以下(例)を参考に10項目述べなさい。

(例)障壁:施設がバリアフリーでない。

対策:施設のバリアフリーでない部分をチェックして施設に改善を依頼する。

問2. 柔道整復師は問1で述べた障壁をなくすためにどのような取り組みができるか、柔道整復師の資格を活かした方法について述べなさい。

<資料:過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数(20歳以上)>



(出典)・平成25年度文部科学省委託事業「健全者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究)報告書」  
・文部科学省「体力・スポーツに関する世論調査」(平成25年1月)